

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に他者と協働して取り組む活動のある授業づくりを実践し、学習習慣の定着を図る。</li> <li>学校行事及び生徒会活動等を充実させ、生徒が主体的に取り組む姿勢を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①感染防止を継続しつつ「学び直し」の機会を保障する。ICTを活用して、生徒の「関心・意欲・態度」・「主体的に学習に取り組む態度」を引き出し、生徒の自発的発言を促し、「思考力・判断力・表現力」を伸長する。</li> <li>②コロナ禍でも安全に学校行事を行えるように考えるとともに、生徒の考えが反映できるように創意工夫して行事を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICTを活用し、生徒の「関心・意欲・態度」・「主体的に学習に取り組む態度」・「思考力・判断力・表現力」を評価する方法を工夫する。授業にルーブリック等を活用するなど、授業の流れと評価方法を明らかにする。</li> <li>②生徒会の考えや希望を汲みとり、安全に学校行事を行えるよう模索して実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「関心・意欲・態度」・「主体的に学習に取り組む態度」において、伝達能力を伸ばす評価方法を工夫したか。「思考力・判断力・表現力」において、評価方法を工夫できたか。</li> <li>②生徒会の打ち合わせを密に行い、安全に学校行事を実施できたか。</li> </ul>					
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員間の共通理解のもと、生徒の規範意識の醸成を図るとともに、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握した支援を行う。</li> <li>部活動の活性化を図り、生徒の自己肯定感を育みながら、部活動を通して責任感、コミュニケーション能力を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒・保護者の状況に配慮しつつ、コミュニケーション能力・社会性を育てるとともに、規律と責任ある行動を実践し、他者と協働できる生徒を育成する。</li> <li>②部活動の活動実績と生徒会の地域連携の活動を増やし、積極的に発信することで、生徒の自己肯定感を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育相談組織・学年団と連携し、生徒間のトラブルの未然防止に尽力する。SNSの適切な利用方法を繰り返し啓発する。</li> <li>②部活動の勧誘を積極的に行い、部活動や地域連携の活動実績等を広報と連携し学校のHPで発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①いじめ案件について未然に防止できたか。「SNSの不適切な使用案件」について、年間10件以下となるよう指導を行えたか。</li> <li>②部活動や地域連携の活動実績等を広報と連携し学校のHPで発信することができたか。</li> </ul>					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で取り組むキャリア教育の充実を図り、生徒一人ひとりの社会性を養い進路実現を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な教育活動を通して、進路実現へ向けて積極的に取り組めるよう、組織的・体系的なキャリア教育を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各学年での進路に対する目標を設定して、組織的な働きかけを行う。</li> <li>②就職では学年団・SCC・SSW等と連携を取り、7月より面接練習ができる環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①目標の周知、進路に対する意識付けができたか。</li> <li>②学校幹旋者を全員内定へ向け支援できたか。リモート面接についての対応ができたか。</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価(3月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域と学校間の連携・協働を充実し、信頼される学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、中学生、保護者に対して情報発信を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPの生徒活動内容を増やし、中学生に伝わりやすいようHPの内容や構成を工夫し、公式ツイッターも使い分けて情報発信する。</li> <li>学校説明会の宣伝や連絡手段としてHPを効果的に使っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP、公式ツイッターの更新回数を増やし、生徒の様子を伝える広報活動ができたか。</li> <li>学校説明会の宣伝や連絡手段としてHPを活用できたか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な学校づくりに努め、事故・不祥事の未然防止に対する自覚を促す取組を組織的・継続的に行う。</li> <li>教員が心のゆとりをもって生徒と向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な学校づくりに努め、事故・不祥事を未然に防ぐ自覚を持つための取組を、定期的に行う。</li> <li>長時間勤務を是正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な研修の中で、事故・不祥事が起こる場面を具体的に自分のこととして考える。また、各グループの職掌の中で事故が起こりやすい場面を全体で共有する。</li> <li>月1回ノー残業デーを設定し月間行事予定に明示するとともに、休日出勤等勤務時間外労働の状態を把握し、産業医による面談につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故・不祥事研修を定期的実施することができたか。その中で事故が起こる場面を想像し事故防止に役立てることができたか。</li> <li>ノー残業デーを何回実施できたか。また長時間勤務者に対して、産業医による面談が実施できたか。</li> </ul>					